

グラフ かごしま

Kagoshima Information Magazine
Graph KAGOSHIMA

5

Vol.506 | 2015 MAY.

グラフかごしまの購読料は
年間1,400円(送料込み)
[隔月1日発行]

特集

大自然が創造した テーマパーク 〜鹿児島島の自然公園〜

おいしく・気軽に・ヘルシーに

「かごしま減塩レシビ」

ヘルシーハンバーグ

「島々もよう」 上甑島・中甑島 (薩摩川内市)

「本物。鹿児島県 特産品探訪」

片想いトート

「薩摩藩英国留学生同行記」

ついに通航!

英国留学生、秘密裏に英国へ

「かごしま祭時記」

唐カラ船祭り (南さつま市)

Present
特産品プレゼント!
詳しくは21ページをご覧ください。





心に響く風景

ふれあいの里公園

鹿児島県 大崎町

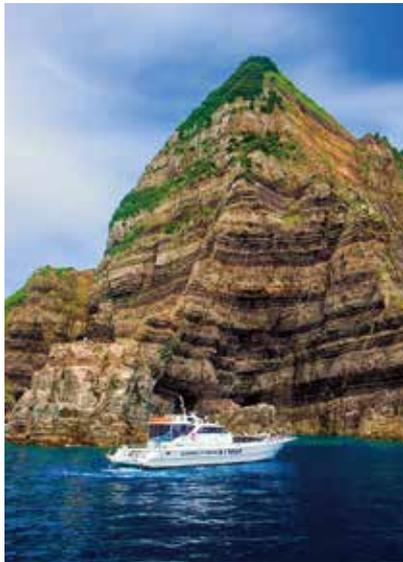
鹿児島県の東南部、大隅半島に位置する大崎町。

南部は豊かな水産物をもたらす志布志湾に面し、そこから北部にかけて農畜産物を育む広大な台地が広がる町です。

大崎ふれあいの里公園内にある日本庭園には、560平方メートル、約2千株の花菖蒲が植えられていて、5月中旬ごろから約1カ月間、白や紫などの花を咲かせ、訪れた人々の目を楽しませます。

梅雨の曇天が続くこの時期には、穏やかに落ち着いた花を咲かせる、花菖蒲がよく似合います。





鹿島断崖 (下甑島・鹿島町)

クルーズ観光船でしか行く事のできない海食崖が16キロメートルにも渡って続いています。ほぼ垂直な断崖は圧巻の迫力で、人気の観光スポットになっています。

● グラフかがしまを購読しませんか。
定価180円、年間購読料1,400円(送料込み)
平成27年度 購読申し込み 受付中

● グラフかがしまに広告を載せませんか。

● グラフかがしまに関する
ご意見・ご感想をお寄せください。

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
鹿児島県広報課

TEL: 099-286-2095

FAX: 099-286-2119

E-mail: h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp



県ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

県携帯電話用ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/mobile/>

県公式ツイッター「鹿児島県政情報」

<http://twitter.com/kagoshimakensei>

県公式フェイスブック「鹿児島県」

<http://www.facebook.com/pref.kagoshima>

kagoshima

鹿児島インターネット放送局「ムーブかがしま」

<http://www.pref.kagoshima.jp/movekagoshima/>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために「点字図書」「拡大写本」「録音図書」などの読書代替物への媒体変更を行うことは自由です。

4 [ひと最前線] 東シナ海の小さな島ブランド株式会社
代表取締役 山下 賢太さん

6 [特集]
大自然が創造した
テーマパーク ~鹿児島島の自然公園~

12 [小特集]
肥薩おれんじ鉄道の新しい魅力をお伝えします!

[県政トピックス]

- 鶴丸城御楼門建設協議会設立総会
- 県労働委員会委員による「高校生を対象とした出前講座」
- 半島隔くじら元氣市
- 14 かがしま春の爽りフェア~軽トラマルシェ in AMU広場~
- 鹿児島魅力企業に会える! 合同企業説明会
- イオン九州「鹿児島うまいものフェア」副知事セールスおよび「世界遺産 屋久島WAON」寄付金贈呈
- 国道58号「網野子バイパス」開通
- 甑島国定公園指定記念式典

[ひとつべ! かがしま国文祭]
17 ストーリーナビゲートキャストの紹介・
文弥節人形浄瑠璃の祭典 (薩摩川内市)

18 [共生・協働の地域社会づくり]
蕨島小学校・蕨島自治会 (出水市)

19 [おいしく・気軽に・ヘルシーに かがしま減塩レシピ]
ヘルシーハンバーグ

20 [島々もよう] 上甑島・中甑島 (薩摩川内市)

[本物。鹿児島県特産品探訪]
21 片想いトート ~2014かがしまの新特産品コンクール
日本百貨店協会会長賞~
プレゼントコーナー

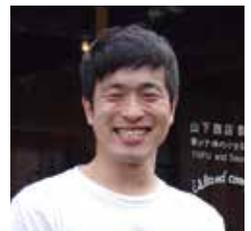
22 [情報ボックス] お知らせ・催し物案内

24 [旅ルリカケス] かがしまよかとこ巡り
砂丘のまちでアートと名湯に浸る旅 (南さつま市・日置市)

26 イベント情報 (5月~7月)

28 [薩摩藩英国留学生同行記] 第1回
ついに! 出航! 英国留学生秘密裏に英国へ

30 [かがしま祭時記] 唐カラ船まつり (南さつま市)



県政広報番組 テレビ・ラジオ			
テレビ			
MBC	毎週土曜日 11:15~11:30	KTS	毎週土曜日 17:25~17:30
ふるさと かがしま	リポーターが県内各地に出かけ、県政情報をお伝えします。毎週抽選で素敵な特産品が当たります。	Every Day かがしま	県政トピックスから旬の情報をピックアップし、分かりやすく紹介します。
KYT	毎週日曜日 11:45~11:50	KKB	毎週日曜日 11:45~11:50
かがしま 県政トピックス	県の旬な話題、施策、県有施設、各地域振興局・支庁の取組を、鹿児島で活躍する熱いメンズがリポーター役となり、分かりやすく紹介します。	DELTA ひと	かがしまで頑張っている“ひと”に焦点をあてつつ県の施策や県政の動きをわかりやすく紹介します。
◎ 最新の番組内容を、県ホームページトップページ→広報→県政テレビ・ラジオ番組からご覧いただけます。			
ラジオ			
MBC	毎週木曜日 18:50~19:00	ミュ-FM	毎週月曜~金曜日 8:35~8:40
むっちゃんの 「いきいき鹿児島!」	県の行事・イベント、制度等を「むっちゃん」のかごま(鹿児島)弁とともに、アナウンサーと県職員等による対談で、分かりやすく紹介します。	かがしま info ラジオ	県の行事・イベント、制度等をさわやかなBGMにのせてアナウンサー等で分かりやすく紹介します。

人々が集い、
語らう日常を
守っていききたい

かみこしま なかこしま しもこしま
上甕島、中甕島、下甕島の3つの島からなる甕島。カノコユリの原生
地や豪壮な海食崖、特異な湖沼群といったほかでは見られない豊か
な自然景観が評価され、平成27年3月に国定公園の指定を受けた。
この島で、手作りの豆腐や甕島の特産品などを販売している東シナ
海の小さな島ブランド(株)代表取締役の山下賢太さんに、甕島の魅
力や国定公園指定によって期待していることなどを伺った。

東シナ海の小さな島ブランド株式会社

代表取締役 **山下賢太**さん

Kenta Yamashita

農業をはじめとして さまざまな事業を 展開されていますね

甑島で生まれ育ち、中学校卒業後に騎手を目指して競馬学校に進学しました。残念ながら学校は中退してしばらくキビナゴ漁の漁師として働き、その後京都造形芸術大学に進学して地域デザインを専攻。民間企業を経て24歳の時に帰郷しました。ただどこに行っても、ふるさとである甑島の思いだけは変わらなかったですね。大学での研究テーマもいつも甑島で、先生に『また甑島か』と言われるほどでした(笑)。

帰郷後、2010年に個人商店「山下商店」を設立して、島で取れた米や島の素材を使った加工品などをイベントや通販サイトでの販売を始めました。農業の経験はそれまで全くありませんでしたが、生まれ育った島に恩返ししが



たいという思いが僕を支えていました。

これは今も現在進行形の問題ですが、当時から島では高齢化や過疎化が進んで耕作放棄地が増えていました。それらを再び耕し、稲が豊かに実る風景を取り戻したい。そして若い人が島を出ていなくても働ける環境を作ってほしいという気持ちが強くなりました。その思いは今でも変わっていません。

現在は株式会社化し、社名も「東シナ海の小さな島ブランド社」に変更しました。2年前には豆腐の製造販売も始めました。もともと氷屋として地域の方々に親しまれてきた場所を改装して、豆腐のほか加工品なども販売しています。子どもの頃、鍋やボウルを持って近くの豆腐屋へ買いに行くのが僕の仕事でした。その頃の豆腐屋はすでにありませんが、今近所の方が同じように豆腐を買いに来てくださいる風景を見るとものすごくうれしいですね。ここには観光客の方も来てくださるので、そこで地元の方との会話が生まれたりしています。そんな地元の方も観光客の方も集い、ゆるやかにつながり合える場所になっていけばいいと思います。

さらに今年3月からは、新しく宿もオープン。もともと宿泊業もしたいと考えていて、昨年10月に閉館した船宿を借り受ける形で始めました。自家製豆腐や、島の旬の素材を使った料理などを楽しんでもらっています。

国定公園指定について どう感じられましたか？

もちろん、今回のことをきっかけに、もっとたくさんの方が甑島について知っていただきたいですし、興味を持ってもらうことを期待しています。もともとそれくらいポテンシャルはあると感じていたもので、やっぱ甑島の価値を認めてもらえたのかなと思います(笑)。僕は島を案内するガイド業務も行っており、甑島の美しい景観を守っている人々の営みを知ってもらうための活動というのを、これまでずっとしてきたつもりなので。

僕には今でも忘れられない、子どもの頃に見た原風景があります。それはアコウの木の下に地域の方が集まり、他愛もないおしゃべりをしてゆっくりと時間が過ぎていく、そんな風景です。その木は僕が17歳の時に移植されて道路ができたのですが、やがて地域の人が集い、語らう場所自体が少しずつなくなってきました。

そんななくなりつつあった風景を、再び日常の中に取り戻したい。地域の方が地元を誇りを感じられるように、そして島の魅力をさらに高めていけるような場を作っていきたいです。

甑島に対する思いが 活動の原動力なのです

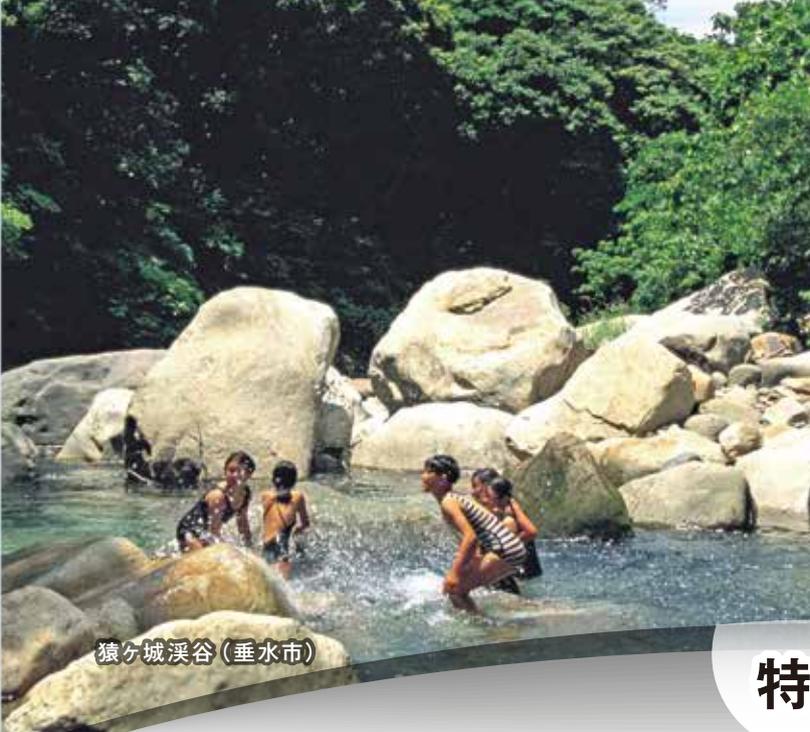
甑島の里町には玉石垣という、独特の文化があります。年間を通じて風が強い甑島では、家の周囲を高い玉石垣と生け垣で囲っていました。これは自然とともに生きてきた人々の暮らしや島の歴史を物語る景観であり、象徴でもあります。この風景は国土交通省が認定する「島の宝100景」にも選定されました。

僕がずっと守っていききたいと思うのは、まさにこの玉石垣のように島で暮らす人々の営みやその風景そのものです。この風景を守っていくためには、きちんと経済と結びついていなければなりません。人やもの、場所が仕組みとして成り立っている風景をしっかりと作り、伝えていく必要があると感じています。

起業する際に強く感じた、島に恩返ししたい気持ちは今でも全く変わっていません。島のためにやりたいことはまだまだたくさんありますし、できることもまだまだあると信じています。



豆腐を買いに来た地元客と笑顔で接する山下さん



猿ヶ城溪谷 (垂水市)

千尋の滝 (屋久島町)

特集

大自然が創造した テーマパーク

～ 鹿児島島の自然公園 ～

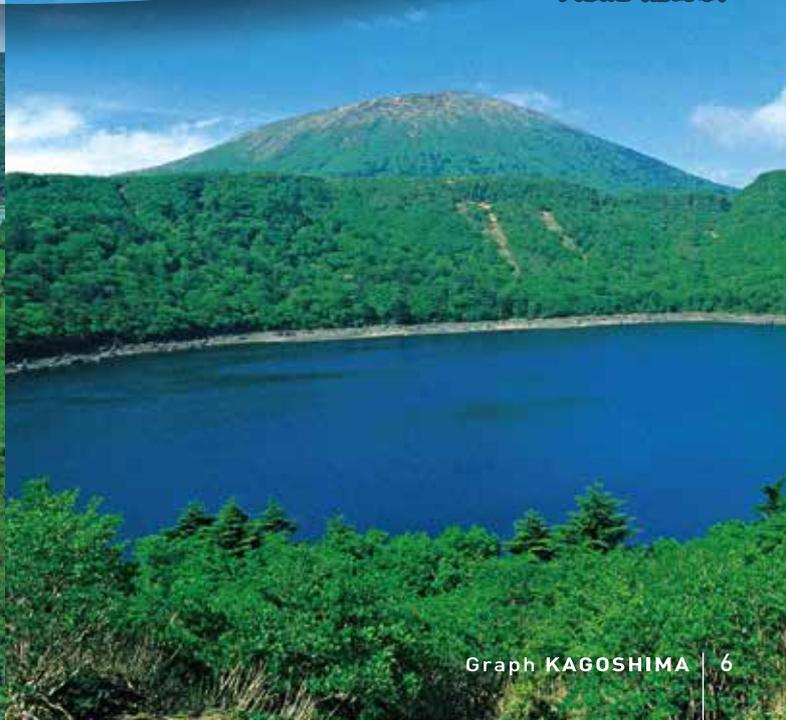
本県は、南北600キロメートルに及ぶ広大な県土を有し、日本で初めて国立公園に指定された霧島や世界自然遺産の屋久島、世界的にも貴重な動植物を有する奄美群島、また、鹿島断崖など優れた海岸景観などが評価され、新たに国定公園に指定された甑島^{せきしま}など、他の地域にない優れた自然環境に恵まれています。

このかけがえのない恵み豊かな自然環境を大切に保存し、活用しながら、次の世代に確実に継承するため、本県では14カ所の自然公園が指定されています。

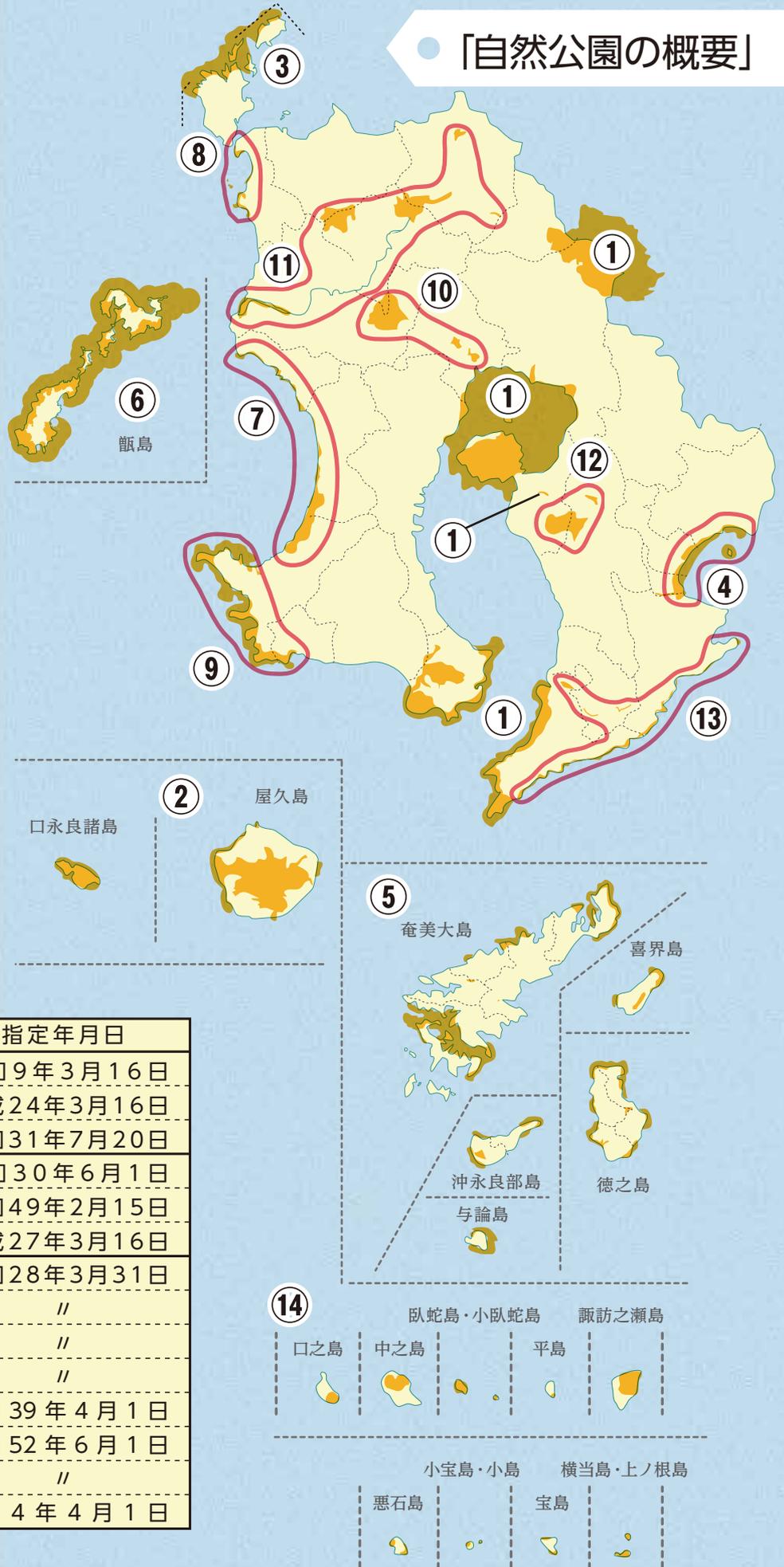
マングローブ群生地 (奄美市)



大浪池 (霧島市)



「自然公園の概要」



自然公園には、我が国の風景を代表し、世界的にも誇りうる傑出した自然の風景地として指定した「国立公園」と、国立公園の風景に準ずるすぐれた自然の風景地として指定した「国定公園」、さらに都道府県を代表するすぐれた自然の風景地を指定した「都道府県立自然公園」があります。

もに、生物の多様性の確保に寄与することを目的としています。

本県には、我が国で最初に指定された霧島錦江湾国立公園をはじめ、雲仙天草国立公園など14の自然公園があり、その面積（陸域面積）は県土面積の約9・7パーセントに当たる89,129ヘクタールに達し、県土に属する山岳、湖沼、海岸などの特色ある風景地の保護を図るとともに、野外レクリエーションの場として重要な役割を果たしています。

区分	公園名	指定年月日
国立公園	① 霧島錦江湾	昭和9年3月16日
	② 屋久島	平成24年3月16日
	③ 雲仙天草	昭和31年7月20日
国定公園	④ 日南海岸	昭和30年6月1日
	⑤ 奄美群島	昭和49年2月15日
	⑥ 甑島	平成27年3月16日
県立自然公園	⑦ 吹上浜	昭和28年3月31日
	⑧ 阿久根	//
	⑨ 坊野間	//
	⑩ 蘭牟田池	//
	⑪ 川内川流域	昭和39年4月1日
	⑫ 高隈山	昭和52年6月1日
	⑬ 大隅南部	//
	⑭ トカラ列島	平成4年4月1日

甌島国定公園

もっとも新しい国定公園

甌島国定公園が平成27年3月16日に指定されました(昭和56年指定の県立自然公園から移行)。甌島列島は薩摩半島から西へ約30キロメートルの東シナ海上にあり、上甌島・中甌島・下甌島の3つの有人島と属島群からなります。

国定公園指定にあたっては「太古の地球を感じる宝の島」をテーマとしています。特異な地形と豊かな自然が作り上げた島の風景は、見どころがたっぶり。海食断崖・奇岩・砂州など、海岸部の地形は波の影響を強く受けています。

列島西部には断崖が多く、下甌島の鹿島断崖では高さ200メートルにもなる場所もあります。波に削られて白亜紀以降の地層が露出し、日本の地質白選にも選定されています。



上甌島北部の海岸には、波の作用で砂が堆積して形成された地形も見られます。その代表的な場所のひとつが「長目の浜」です。ここでは約4キロメートルにわたって海を仕切るように砂州が延び、陸側には4つの池(なまこ池・貝池・鍛崎池・須口池)があります。

カノコユリの自生地が点在するほか、国内最大級のハマナツメ群落、カラスバト・ミサゴ・ウミネコなどの鳥類、固有種のコシキトゲオトンボなど、珍しい動植物の宝庫でもあります。また、貝池には「フロマチウム」という原始的な微生物も生息。これが確認されているのは、世界でもわずかに数カ所だけです。

カノコユリの自生地が点在するほか、国内最大級のハマナツメ群落、カラスバト・ミサゴ・ウミネコなどの鳥類、固有種のコシキトゲオトンボなど、珍しい動植物の宝庫でもあります。また、貝池には「フロマチウム」という原始的な微生物も生息。これが確認されているのは、世界でもわずかに数カ所だけです。

鹿島断崖

横縞模様に露出した地層が観察できます。ウミネコ繁殖地の南限でもあります。



ナポレオン岩

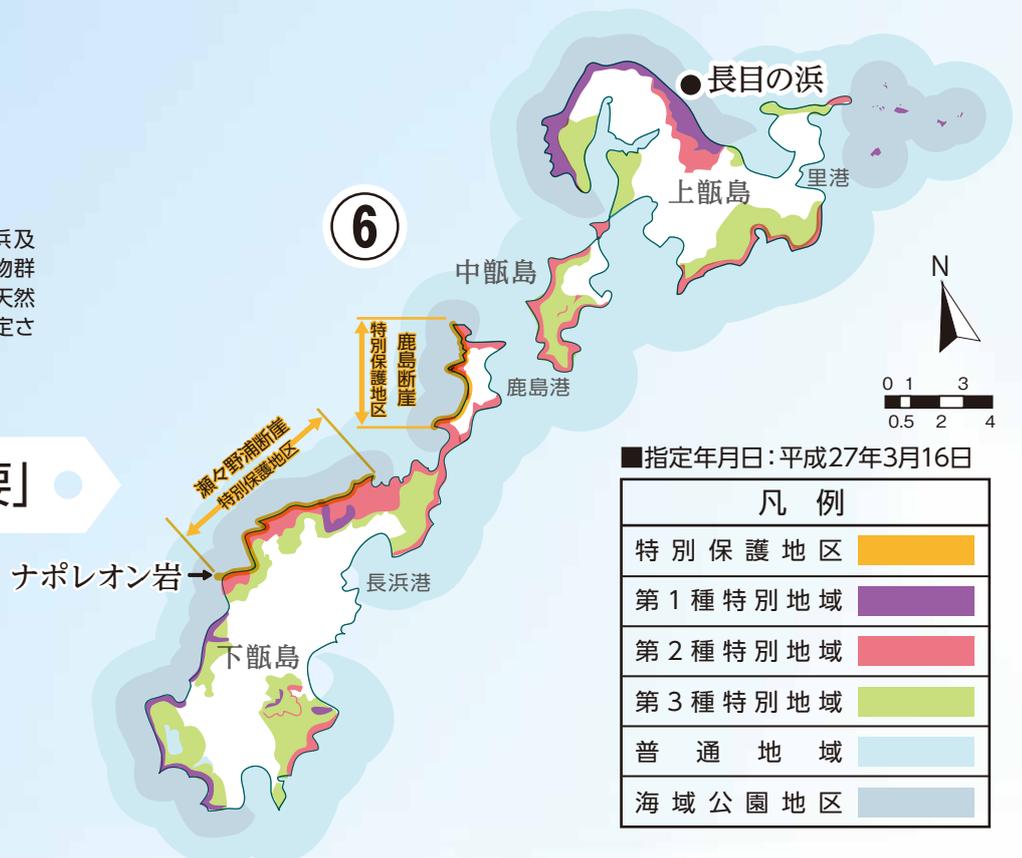
高さ127メートルの奇岩。名前の由来は横から見るとフランスの英雄の顔に似ていることから。



長目の浜

「甌島長目の浜及び潟湖群の植物群落」として国の天然記念物にも指定されました。

「甌島国定公園の概要」



甌島人としての魂を次世代にも伝えていきたい

庵地つけあげ店代表 あんちすぐる 庵地 優 さん



昭和53年、上甌島里町生まれ。大学中退後、実家のつけあげ店の後継者としてUターン。甌島の地魚を使ったつけあげは、歯応えがあり、ほどよい甘みの特徴。自身も漁に出かけた経験を持ち、甌島の新鮮な素材の良さを知り尽くしている。

昭和53年6月13日、私は里村出身の父と里村出身の母のもと、本土行きフェリーに間に合わずに母の実家で生まれました。島には高校がないため、15歳で島を出なければなりません。生まれも育ちも生粋の「甌島人」であった私も例外ではなく、島を発ち、高校、大学と進学しました。しかし大学在学中、父親が倒れてしまい帰郷。23歳で結婚しましたが、福岡県久留米市という都会育ちの妻にとって甌島の生活は驚きの連続だったようです。

10年前に里村は薩摩川内市として合併しました。当初から甌島は宝の島として位置付けていただき、多くの方々からたくさんのサポートをいただきました。そして今、甌島は国定公園という非常に名誉ある指定を受けました。これからは私たち島民が、この大きな舞台で歌って踊る番。甌島に古くから伝わる民俗楽器「こったん」のように、来島してくださった皆さま方を喜ばせる、そんな努力がさらに必要になってくると思っています。

過疎化はいまだに進行し、目を向ければマイナスなことも見えてきます。それでも先人から私たちの代へ、そしてまたその次の世代へ甌島の魂を引き継いでいけるように、さらに地域おこしの最先端がここにあると日本全国に知ってもらえるように、これからも頑張っていきたいと思えます。

きっかけの自然 また訪れたい甌島

薩摩川内市地域おこし協力隊 (下甌島担当) せきみほこ 関 美穂子 さん



平成2年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学にて観光人類学を研究。大学卒業後、福岡の旅行代理店に勤務。より地域に密着した観光に携わりたく、平成25年6月に下甌島の地域おこし協力隊に参加。観光商品の造成やイベントの企画を行っている。

以前は福岡の旅行代理店に勤めていたが、2年前に思い切って、知り合いが誰もいない下甌島に地域おこし協力隊として飛び込みました。地域おこし協力隊というのは、都会の若者が地域に入って地域の方々や地域おこし活動をするというもので、甌島列島は上甌島に2人、下甌島に2人で活動しています。活動内容は主に観光に特化しており、特産品の開発、体験プログラムやツアーの企画、観光の情報発信や観光案内などを行っています。

今回の国定公園指定に伴い、これまで甌島を知らなかった方々にも広く存在を知ってもらえるきっかけになるのではと期待しています。一度旅行で訪れた場所にもう一度行ってみたいと思う理由は、「あの人に会いたい」「あそこに泊まりたい」「あれがしたい」といった具体的なことがあるからだと思いますが、甌島では国定公園に指定されるほどの素晴らしい自然も、リーダーになっていただくための理由の一つになると確信しています。

私たち地域おこし協力隊は、この甌島でしかできない体験、それを磨き上げるお手伝いを地域の方と一緒にこれからもしていきたいと思えます。そういった方々との関係を大切にしながら、しっかりと観光客の方に甌島の自然に親しめる仕組み作りをしていきたいと思えます。

「甌島 人と想いを 繋ぐ島」

(甌島に対する私のイメージを川柳にしました)

国定公園に指定された甌島は、「長目の浜」や「ナポレオン岩」をはじめとした優れた景勝地であることは当然ですが、この国定公園指定は、あくまでも「きっかけ」に過ぎず、これを契機として、今後、何を仕掛けていくのが最も重要であると考えています。また、これまでの風景を楽しむだけの観光ではなく、そこにテーマやストーリー性など「甌島ならでは」をプラスαした他にはない観光に、行政主導ではなく、地域が主体となって考え、行政が支援する形で、今後取り組んでいく必要があります。

このチャンスが、10年後の甌島にとって「きっかけ(成功)」となるのか「せっかく(失敗)」となるのか待ったなしのスタートは切られたばかりです。

薩摩川内市 企画政策部企画政策課 甌はひとつ推進室 にしぞのともひろ 西園 友宏 さん



霧島錦江湾 国立公園



佐多岬

北緯31度線上にあり、離島を除く日本の最南端の地です。海岸線は切り立った断崖。



桜島

島内には文明噴火・安永噴火・大正噴火・昭和噴火で形成された溶岩原が広がっています。



開聞岳

美しく整った姿から「薩摩富士」とも呼ばれ、海辺に突き出した山容は圧巻。



大地の活力を体感できる

霧島錦江湾国立公園は昭和9年3月16日に国立公園指定。日本初の国立公園の一つで、じつに80年以上の歴史を有しています。当初は「霧島国立公園」の名称で、その範囲は霧島エリアのみでした。その後、昭和39年に錦江湾(桜島、指宿・佐多岬)と屋久島を追加編入して「霧島屋久国立公園」へと拡大。さらに平成24年に「屋久島国立公園」が分離・独立し、現在の「霧島錦江湾国立公園」となっています。

霧島エリアは韓国岳(標高1700メートル)を最高峰とした火山群。その範囲は東西に約22キロメートル、南北に約18キロメートルと広大で、鹿児島県(霧島市・湧水町)と宮崎県(都城市・小林市・えびの市・高原町)にまたがっています。ここでは火山活動によってできた地形、噴気活動や温泉などを見ることが出来ます。ミヤマキリシマやキリシマツツジ、固有種のノカイドウをはじめとする多様な植生も特徴です。

また、天孫降臨(ニギノミコトが高千穂峰に降り立った)の地とも伝えられています。

錦江湾(鹿児島湾)は北部に始良カルデラ、南部に阿多カルデラと火山活動によって形成されました。桜島は始良カルデラの南縁に位置し、現在も活発に活動しています。鹿児島市吉野の海岸部ではカルデラ壁(外輪山)も見られます。温泉地として有名な指宿周辺は阿多カルデラ内にあたり、美しい円錐形の開聞岳や九州最大のカルデラ湖である池田湖など、景勝地も多数あります。また、大隅半島南部の佐多岬も国立公園区域で、ヘゴ・ヒロウ・ソテツといった亜熱帯性の植物が自生しています。

▼重富海岸：重富海岸の広大な干潟。ハクセンシオマネキ、ウミニナ、ミサゴといった珍しい生物が生息。



平成24年3月に始良カルデラ（錦江湾奥部）が国立公園の区域に追加されました。平成27年4月5日には、自然情報発信と自然とのふれあいの拠点として始良市の重富海岸に「重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム」がオープンしました。施設運営はNPO法人くすの木自然館が環境省より受託して行っています。

世界的にも珍しい地形 渚は生物多様性の宝庫

なぎさミュージアムは、国立公園内のこのエリアの拠点施設で、重富干潟の生態系や始良カルデラについて展示。体験学習などの環境教育の場としても活用されています。平成18年より運営してきた「重富干潟小さな博物館」を前身とし、これを改築して整備されたものです。

錦江湾奥部は約3万年前の始良大噴火によって形成されました。直径約20キロメートル、最深部は200メートル以上にもなる巨大カルデラ。重富海岸はカルデラの北西部に位置し、国立公園に指定された海域や桜島を一望できます。また、約53ヘクタールもこの広大な干潟があり、ここでは多様な生態系が育まれています。



ミュージアムは外光を取り入れた明るい雰囲気。海に面したウッドデッキからの眺めも抜群。



NPO法人 くすの木自然館
代表理事
はまもと なこ
浜本 奈鼓 さん

海のカルデラは世界的にも希少な地形で、この干潟もまた貴重な存在。国立公園にふさわしい自然です。それとは別にしてもうひとつ、重要な意義があると考えています。それは地域に暮らす人々との関わりです。

じつは、15年ほど前(平成12年ごろ)まで、重富海岸は非常に荒れていました。ゴミが散乱し、あまり立ち入りたくない場所でした。そんな中で、地域住民が一丸となって再生に取り組み、私たちもそのお手伝いをしてきました。ゴミを取り去ると、そこには白砂青松の美しい景観があります。環境保全活動は現在も進行中で、住民の皆さんの努力で自然・景観が維持されているのです。

きれいな場所です。ぜひ、足を運んでみてください。多くの方に錦江湾の魅力を知っていただきたいです。

重富海岸自然ふれあい館 なぎさミュージアム：TEL 0995-73-3146

公式ホームページ <http://www.nagisa-museum.com/>

自然環境を次の世代に継承するために ～お知らせ～

自然公園では、優れた自然風景を保護するため、各種の行為が規制されています。一定の行為を行う場合は、公園計画で定められる保護区分により、環境大臣や知事の許可又は届出が必要です。

詳細については、お問い合わせください。

(問い合わせ先) 環境林務部 自然保護課 自然公園係 ☎099-286-2617

大島支庁 総務企画課 商工観光係 ☎0997-57-7215

(鹿児島県ホームページアドレス) <http://www.pref.kagoshima.jp/>

また、自然公園の利用に当たっては、次のようなことに注意しましょう。

- 車を使わずに歩くことを基本としましょう。
- 空き缶やゴミは持ち帰りましょう。
- 動植物は見て楽しみましょう。
- 万全の準備をしてから行動しましょう。
- 騒音を発したり、利用施設を独占しないようにしましょう。
- 火の取扱には注意しましょう。

重富海岸自然ふれあい館

なぎさミュージアム

肥薩おれんじ鉄道の新しい魅力をお伝えします！

平成27年3月から新しい運行プランとなった観光列車「おれんじ食堂」や新感覚列車「ゆうゆうトレイン」、また、新たな企画きっぷである「わくわく切符」や「おれんじ鉄道感謝デー」など鹿児島県薩摩川内市と熊本県八代市を結ぶ肥薩おれんじ鉄道と沿線の新しい魅力を紹介いたします。

一新された観光列車

「おれんじ食堂」とおれんじ食堂

限定の新商品が登場！

絶景を満喫しながら、沿線の旬な食材を使用した料理も堪能できる観光列車「おれんじ食堂」は、平成25年3月の運行開始以来、県内外から多くの皆さまにご乗車いただいています。そこで、進化を続ける「おれんじ食堂」を実感していただくため、今年3月運行プランと料理内容をリニューアルしました。

これまで、3本であった運行本数を4本に増便し、その4本目を「おれんじバー」として、食事とは違う新しい形態の「バー列車」の運行を開始し、夜の「おれんじ食堂」も新たにお楽しみいただけます。



「大島紬ストール」 18,000円

「薩摩切子ストールリング」 9,800円

【おすすめプラン】

1号車

2号車

● 飲食付きパッケージプラン



【CRUISING DINNER】

沿線の食材を活かした「お食事」と、沿線の方々がお家で提供する「駅マルシェ」、それぞれの駅でお配りする「お土産」など、おれんじ食堂の魅力をお十分に満喫いただけるパッケージプラン。

3便 CRUISING DINNER (クルージングディナー) 大人 / 21,000円 小人 / 14,000円

※上記料金は税込です。
 【プランに含まれるもの】
 ・運賃・座席指定料金 ・お食事・お飲物
 ・各駅でのお土産品

沿線で採れた旬の野菜をふんだんに使ったブレイクファースト、月替わりでブランド食材「いずみどり」「鹿児島黒豚」を堪能できるスペシャルランチ、不知火海産の魚介をメインにした創作料理が味わえるクルージングディナーとグレードアップした料理をご提供いたします。

また、車内ではバラエティ溢れるエンターテイメントを実施するとともに、鹿児島県の伝統的工芸品である大島紬と薩摩切子で作成した、おれんじ食堂限定の「大島紬ストール」と「薩摩切子ストールリング」を販売します。大切な人へのプレゼントや自分へのご褒美にいかがですか？

全国的に注目を浴びている

「肥薩おれんじ鉄道沿線の絶景を満喫」
新感覚列車「ゆうゆうトレイン」

「ゆうゆうトレイン」は、土・日・祝日に限り全区間を平均時速35キロメートルでゆっくり走り、九州西海岸の雄大な景色を思う存分楽しんでいただける列車です。しかも、使用する車両は原則ラッピング列車（ぐりぶー・さくらやくまモンのラッピング列車など）限定となっており、小さなお子様も楽しんでいただけます。
ぜひ、ご家族やご友人方と楽しい列車の旅をお楽しみください。

お得な企画きっぷも新登場！

「わくわく切符」と

「おれんじ鉄道感謝デー」

「わくわく切符」は、土日祝日限定の1日フリー切符でおれんじ鉄道全線乗り降り自由です。

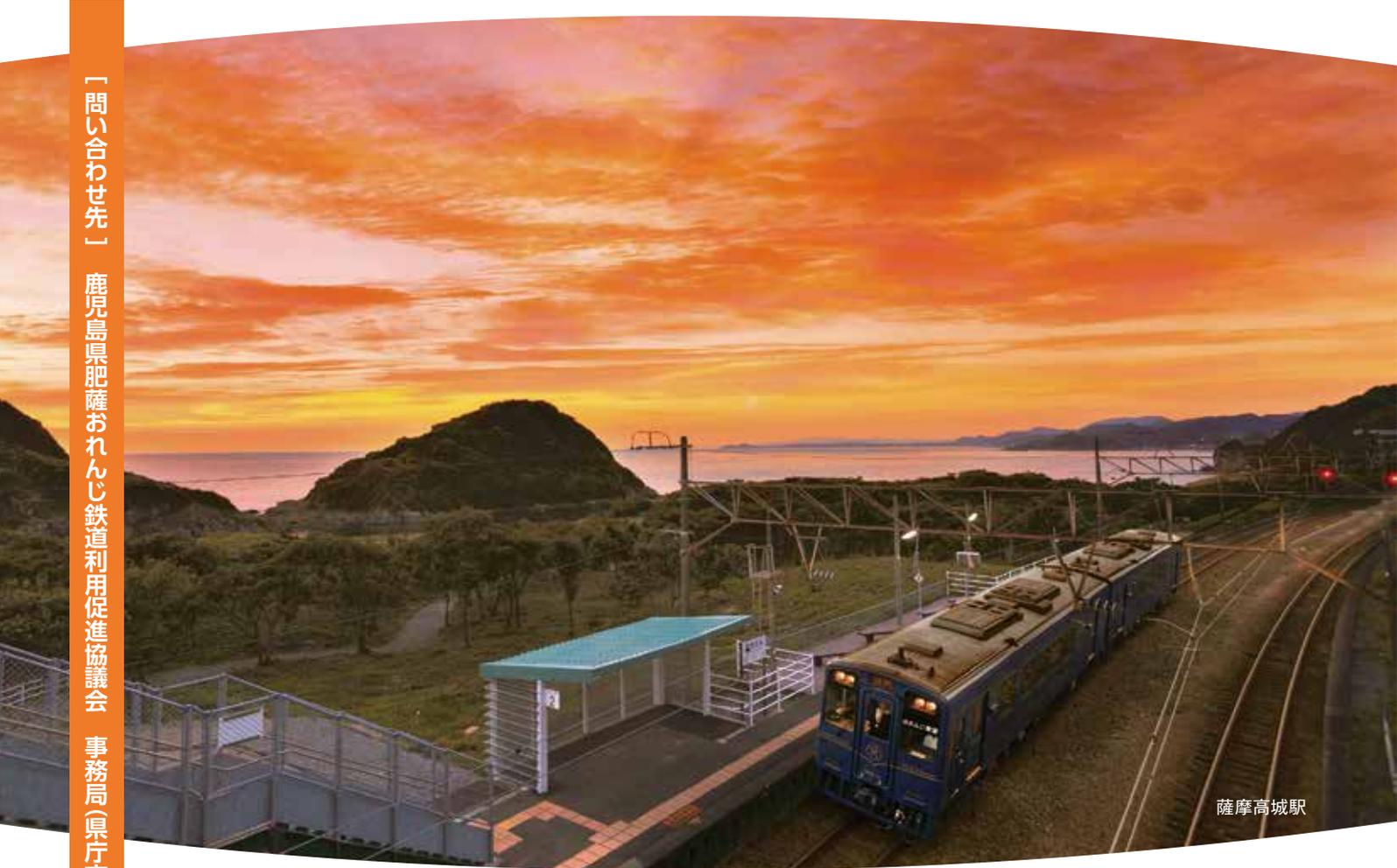
料金：大人2000円

小人・65歳以上の大人1000円

※平日は、現行どおりの1日フリー乗車券での取扱いとなります。

（料金：大人2880円、小人1440円）

また、日頃のご愛顧に感謝の気持ちを込めて、年に7回、どこまで乗っても1乗車につき300円（小人100円）でご利用できる「おれんじ鉄道感謝デー」を設定させていただきますました。（※実施日については、ホームページなどでお知らせいたします。）



薩摩高城駅

映画のような風景を楽しむことができる

「薩摩高城駅」

薩摩高城駅は、肥薩おれんじ鉄道の社員が自ら遊歩道やベンチなどの整備を行って、プラットホームから浜辺まで散策できるようになったおすすめの駅です。

また、観光列車「おれんじ食堂」停車の際には、マルシェの開催や地元の方々がおもてなしイベントも行っており、今年の3月には、柑橘類の産地を走る鉄道のイメージを定着させるため「サワーポメロ」を植栽し、皆さまが集える新たな観光スポットとして進化を続けています。

県や沿線自治体の

利用促進への取り組み

県、沿線自治体および沿線の関係する団体で利用促進協議会を構成し、駅に柑橘類を植栽するほか、鹿児島・熊本両県の小・中・高校生を対象に同鉄道を題材とした絵画コンテストを実施するなど県民に親しまれる鉄道としてアピールに努めます。

また、ラッピング列車を活用したキャンペーンの展開や、新たに改修された阿久根駅などでのイベント開催などを通して、今後も積極的に同鉄道の利用促進を図ります。

「問い合わせ先」

鹿児島県肥薩おれんじ鉄道利用促進協議会

事務局（県庁交通政策課内）

☎099(286)2465

県政の動き

2月11日(水)～4月10日(金)

2月12日(木)

かごしま・人・まち・デザイン表彰式

2月18日(水)

★鶴丸城御楼門建設協議会設立総会

2月23日(月)

★県労働委員会委員による「高校生を対象とした出前講座」

2月28日(土)

南九州西回り自動車道川内隈之城道路開通

2月28日(土)～3月1日(日)

★半島隔くじら元氣市

3月7日(土)～8日(日)

★かごしま春の美リフェア

く軽トラマルシェ in AMU広場

3月16日(月)

県内地域おこし協力隊による意見交換会

3月18日(水)

県立短期大学卒業式

3月18日(水)

★鹿児島魅力企業に会えるー合同企業説明会

3月19日(木)

たわわタウン谷山オープニングセミナー

3月19日(木)

鹿児島県防災会議

3月20日(金)～22日(日)

★イオン九州「鹿児島つまいものフェア」

副知事セールス

3月21日(土)

景観セミナー in 日置市・いちき串木野市

3月22日(日)

★国道58号「網野子バイパス」開通

3月28日(土)

★甞島国定公園指定記念式典

4月1日(水)

大隅加工技術研究センター開所

★は写真入りで紹介

2月18日(水)

鶴丸城御楼門建設協議会設立総会



鶴丸城御楼門建設協議会の設立総会を県庁で開催した。

明治6（1873）年の火災で焼失した御楼門の復元は、民間の「鶴丸城御楼門復元実行委員会」が募金活動を行い、建設費用として4億5千万円を上回る寄附金が県民から寄せられた。

今回の取り組みは、民間が主導する新たな官民連携の一つのモデルであり、歴史、文化、建築技術の継承などのほか、新たな観光拠点としても意義があることから、県は同実行委員会と「鶴丸城御楼門建設協議会」を設立し、御楼門の建設に取り組むこととした。

当日は、会長に伊藤知事を選出するとともに、会則や予算などが承認された。



2月23日(月)

県労働委員会委員による「高校生を対象とした出前講座」



県労働委員会では、社会人になる前に労働に関する基礎知識を身につけてもらうために、高校生を対象とした出前講座を、県立鹿児島工業高校において初めて開催し、今春卒業予定の3年生約350人が参加した。

当日は、同委員会の宮廻甫允会長が、働くことの意義や賃金、労働時間等の労働条件に関するルールなどを説明し、労働に関する相談機関を紹介した。

受講した生徒からは「残業のルールなど知らないことが多かった。将来に役立たい」との感想があった。同講座は、引き続き開催することとしている。



2月28日(土)～3月1日(日)

半島隅くじら元気市



南さつま市、肝付町、錦江町、南大隅町の1市3町による「半島隅くじら元気市」が鹿児島市のドルフィンポートで開催された。特産品の販売やイベントなどを通じ、毎年、同地域の情報の発信や、観光PRなどさまざまな交流促進に取り組んでいる。

今回は、数量限定の南大隅町「本土最南豚(ほんごさいなんとん)」「豚汁のふるまいや、地元特産品の詰め放題などさまざまなイベントが行われたほか、デコポンやさつまあげ、ひらまさ、けせんだんご、辺塚だいたいシフォンケーキ、きだか(つつぼ)の天日干しなど、半島先端部の魅力ある食が提供されたこともあり、多くの来場者で賑わった。



3月7日(土)～8日(日)

かごしま春の実りフェア ～軽トラマルシェ in AMU広場～



JR鹿児島中央駅前の「AMU広場」において、県産農畜産物のPRイベント「かごしま春の实りフェア」を開催した。

フェアでは、ばれいしょや豆類、かごしま黒豚などの県が誇る「かごしまブランド産品」などが販売され、産地関係者による試食宣伝やレシピの紹介も行った。また、安納いもの焼き芋や鹿児島黒牛カレーなどの販売、食の専門家による調理パフォーマンスなども実施した。

たんかんやそらまめ、実えんどうなどの春の訪れを感じさせる人気商品は早々に売り切れになるなど、多くの来場者で大盛況だった。



3月18日(水)

鹿児島魅力企業に会える！合同企業説明会



県では、来春卒業予定の大学生等の就職活動が本格的に開始する時期に合わせ、「鹿児島魅力企業に会える！合同企業説明会」を開催した。この説明会は、県内企業への就職を促進するため、昨年から開催している。

2年目となる今年は、若者就職サポートセンターと合同で規模を拡大して開催し、当日は、対象となる大学生等や既卒3年以内の未就職者など、711人の来場があり、県内企業152社の採用担当者から熱心な説明が行われた。

来場者からは、「鹿児島の色々な企業に話を聞くことができ良かった」などの声があり、盛況であった。



3月20日(金)～22日(日)

イオン九州「鹿児島うまいものフェア」副知事セールス および「世界遺産 屋久島WAON」寄付金贈呈



また、同日、副知事はイオン九州の幹部などと意見交換し、県産品の継続的な取り扱いについて協力を依頼を行った。



3月20日(金)～22日(日)の3日間、九州内にあるイオンおよびマックスバリュの167店舗において、「鹿児島うまいものフェア」が開催された。
21日はイオン筑紫野店(福岡県)において記念セレモニーが実施され、佐々木副知事がJA鹿児島県経済連会長らと共に、県産品や観光の魅力についてPRを行った。
イオン九州およびマックスバリュ九州の両社長より(公財)屋久島環境文化財団へ「世界遺産 屋久島WAON」寄付金が副知事へ贈呈され、両社長へ感謝状を授与した。

3月22日(日)

国道58号「網野子バイパス」開通



開通を祝った。また、3月15日には約1000人が参加したウォーキングなどの開通記念イベントも行われ、楽しいひとときを過ごした。



奄美大島において、国道58号網野子バイパスが開通した。
網野子バイパスは、国道58号最後の峠道であり、落石やがけ崩れによる通行規制が度々発生していたことから、平成15年度に事業着手した。
網野子バイパスの開通により時間短縮はもとより、安心・安全な通行が確保され、生活環境の飛躍的な改善や地域間の交流促進などが期待される。
開通式典当日は、網野子トンネル坑口においてテープカットや通り初めが行われ、

3月28日(土)

甑島国定公園指定記念式典



また、甑島で記念碑の除幕式が行われ、その模様が会場中で継ぎされ、現地と一体となったイベントとなった。



甑島が3月16日に国定公園に指定されたことを記念した式典が、薩摩川内市国際交流センターで開催された。
甑島は、古くは8千万年前からの地層が織りなす断崖などの雄大な景観が見られることから、国定公園のテーマは「太古の地球を感じる宝の島」。
式典では、これまで何度も甑島の地形・地質の調査を行ってきた大木公彦鹿児島大学名誉教授による記念講演や、甑島で活躍中の方からの意見発表などを行い、来場者に甑島の魅力をアピールした。

ひつとべ!



本物。鹿児島県 ~文化維新は黒潮に乗って~

かごしま国文祭

[平成27年10月31日(土)~11月15日(日)]



熱気溢れる練習風景

ストーリーナビゲートキャストの紹介

国民文化祭の総合フェスティバル（開会式・閉会式）では、大会テーマ「本物。鹿児島県〜文化維新は黒潮に乗って〜」に込められた想いを、ストーリー性に満ちた物語によって表現・発信します。

この物語をお芝居や歌、ダンスでリードするのが「ストーリーナビゲートキャスト」で、14人の若者が昨年のオーディションで選ばれました。

開催1年前イベント「プレ国民文化祭・県民文化フェスタ」のステージでスタートラインに立った14人は、現在練習も始まり、本番に向けて熱気も高まっています。

県では、ストーリーナビゲートキャストの奮闘する様子を本番まで追いかけるドキュメンタリー映像を制作しています。この映像は鹿児島キャリアアデザイン専門学校映像科の学生さんが、撮影から編集、ナレーションまで手がけます。

完成した映像は国文祭ホームページで随時配信しますので、ぜひ、ご覧いただき、大会本番に向けて今後ますます練習に励む「ストーリーナビゲートキャスト」の応援をよろしく願います。

● 文弥節人形浄瑠璃の祭典

薩摩川内市では「文弥節人形浄瑠璃の祭典」、「全国はんやの祭典」、「全国まごころ短歌大会」、「薩摩川内こころの川柳大会」、「甑島の生活と文化の祭典」の5つのイベントを開催します。その中の一つ「文弥節人形浄瑠璃の祭典」を紹介します。

文弥節人形浄瑠璃は、17世紀後半に上方（大阪、京都地方）で流行した古浄瑠璃の流派の一つで、俗に「文弥の泣き節」といわれる哀調を帯びた旋律を特色とします。

現在では、石川、新潟、宮崎、鹿児島の

4県のみに保存・継承され、いずれも国の重要無形民俗文化財に指定されています。

鹿児島では、薩摩川内市東郷町に古くから伝わり、神社への奉納や村の祭り、結婚披露宴などで演じられてきました。現在は、東郷文弥節人形浄瑠璃保存会を中心に保存・継承活動が行われています。

同じ文弥節人形浄瑠璃でも、各県によって所作の違いなどがあります。本祭典は、この4県の文弥節人形浄瑠璃保存会が、全国で初めて一堂に会し合同公演を行うこ

〈薩摩川内市実行委員会〉

とで、その違いを見比べて楽しんでいただくとともに、貴重な郷土芸能を全国へ発信する絶好の機会となります。

また、有識者や出演団体の代表者らによる講演やパネルディスカッションでは、保存会の活動状況や保存・継承の苦労話など直に聴くことができ、さまざまな観点から人形浄瑠璃の魅力を感じることができます。

薩摩川内の地で、伝承された哀調を帯びた人形浄瑠璃の演舞を、この機会にぜひご覧ください。



演目「源氏烏帽子折 三段目 鞍馬下りの段」

【お問い合わせ】

県庁生活・文化課
国民文化祭室
☎099(286)2863



HITTOBE! KAGOSHIMA KOKUBUNSAI

共生・協働の 地域社会づくり

わらびしま 出水市立蕨島小学校・蕨島自治会

「いきいき はつらつ 蕨島」を合言葉に

学校と地域が一体となって集落の活性化を目指す

出水市立蕨島小学校は、出水市の北西部にあり児童数14人(平成26年度末)の小さな学校で、校区には、約80世帯、約150人が暮らしています。

過疎化・少子化の影響で児童数の減少が続いたことから、平成16年度に特認校の指定を受け、校区外に住む児童を通わせるなど、児童数を確保するための取り組みを続けてきましたが歯止めはかからず、平成23年度には児童数が7人(うち特認校生4人)という状況となりました。

このままでは小学校の存続が厳しく、地域に元気がなくなってしまう恐れがあることから、自治会長や教職員、民生委員などが「蕨島小学校児童増加推進実施委員会」を発足させ、地域住民と一緒に知恵を出し合い、特認校生募集、空き家を活用した定住促進、学童保育(児童クラブ)運営、出水市内の高校生との連携など、さまざまな学校存続のための取り組みを行ってきました。



蕨島小学校児童増加推進実施委員会の理事会

たとえば、児童クラブの運営では、住民ボランティアが交替で指導員を務めるなど、小学校と地域が一体となって子どもと保護者が安心できる環境の整備。高校生との連携では、出水商業高校の生徒による蕨島を出水市内外にPRするための蕨島のイメージキャラクター「わらびちゃん」やイメージソング「行くよ! わらび島」の製作、住民参加のスポーツイベントの企画・運営や空き店舗を活用して写真展や無人販売などを行う地域住民の憩いの場づくりなどを進めています。

小学校と地域とが一体となり、学校行事への住民参加など、より子ども達と住民の交流が盛んになることで、子ども達はたくさんの方の前でも物怖じせず話ができるようになり、それまで家にこもりがちだった高齢者も学校に出掛けていくようにな

るなど、住民間にうれしい交流が生まれるようになりまし



児童クラブで地域ボランティアと勉強



代表者からひとこと

とよなが ふじひろ
校長の豊永 藤浩さん(平成27年3月)
笑顔で楽しみながらやるのが活動を長続きさせるポイントだと、地域の皆さんと話をしています。

から来た人も温かく受け入れる包容力がある」と豊永校長は語ります。
平成26年度には、地元住民3人が「蕨島『夢・実現』プロジェクト」を立ち上げ、住民が健康で明るく、生き生きと生活を営み活気みなぎる集落へと前進するため出水市などへの提言も行われており、今後、さらに小学校と地域が一体となった取り組みが展開されていくことでしょう。



イメージソングのプロモーションビデオの撮影

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。

かんたんヘルシー
減塩レシピ
QRコード

おいしく・気軽に・ヘルシーに

かごしま減塩レシピ

VOLUME 07

一般の方から投稿
していただいたレシ
ピをまとめました!
ぜひホームページ
をご覧ください。

鹿児島県 かんたんヘルシー減塩レシピ

検索

ヘルシーハンバーグ

主菜・肉類



《食塩を無理なく減らすポイント》 調味料はソース、トマトケチャップも上手に使いましょう。

材料(2人分)

<ハンバーグ>

- 豚赤身ミンチ 120g
- たまねぎ 60g
- 卵 20g
- パン粉 10g
- 低脂肪牛乳 20ml
- ハーフマヨネーズ 大さじ2分の1
- ナツメグ 少々
- サラダ油 小さじ1

<デミグラス風ソース>

- たまねぎ 40g
- しめじ 20g
- ウスターソース 小さじ2
- トマトチャップ 小さじ2
- サラダ油 小さじ2分の1
- 薄力粉 小さじ1強(4g)
- チキンコンソメ 10分の1個(0.4g)
- 水 80ml

<付け合わせ>

- 赤パプリカ 20g
- 黄パプリカ 20g
- アスパラガス(グリーン) 40g

作り方

- ハンバーグ用のたまねぎはみじん切りに、デミグラス風ソース用は薄切りにする。卵は溶いておく。パン粉は牛乳に浸しておく。赤・黄パプリカとアスパラガスは食べやすい大きさに切り、茹でておく。
- 豚赤身ミンチにたまねぎ、溶き卵、パン粉、ハーフマヨネーズ、ナツメグを加えて混ぜ、形を整えて、サラダ油をひいたフライパンでこんがり焼く。
- 別のフライパンにサラダ油を熱し、たまねぎ、ほぐしたしめじを炒め、たまねぎが透き通ったら薄力粉を入れて、焦がさないようによく混ぜながら炒める。
- 茶色に色がついてきたら少しずつ水を入れてのばし、ソース状になってきたらケチャップ、ウスターソース、チキンコンソメを加え、味を調える。2を入れてソースをからめて、付け合わせと一緒に色どりがよく盛り付ける。

【POINT】 ウスターソースとケチャップで味付けしているので、食塩は控え目です。たまねぎを生そのまま入れているので、食感も楽しめます。

【レシピ作成/山領美雪様(鹿児島市)】

鹿児島島の旬の食材を使用し、塩分は控えめ・おいしさはたっぷりの減塩レシピをご紹介します。

食塩摂取量の目標(成人男女平均)は、1日あたり8グラム未満。これに対して、鹿児島県民の食塩摂取量は、1日あたり10・3グラムです。目標に近づくため、食塩を1日2グラム減らした食生活を心がけ、生活習慣病をおいしく予防しましょう。

今回使用する旬の食材はたまねぎです。一年を通して店頭に並び、保存性にも優れた野菜ですが、新たまねぎの旬は春。4〜5月に収穫される新たまねぎは、水分が豊富で甘みが強く、生でもおいしく食べられます。

また、加熱することにより、さらに甘みは強く、おいしくなりますので、いろいろな料理に利用したい食材です。

栄養成分：1人あたり

エネルギー	210kcal
たんぱく質	17.4g
脂質	8.7g
炭水化物	15.5g
食物繊維	2.4g
食塩相当量	1.1g

壮大な自然美と島の恵み、すべてがごちそう

しましま
島々
もよう

vol. 7

Kamikoshikishima/Nakakoshikishima

上甑島・中甑島

大自然が作り上げた絶景
国定公園にも指定

上甑島と中甑島は甑島列島北部にあります。両島は中島(無人島)を経由して甑大明神橋・鹿の子大橋でつながり、中甑島から下甑島への架橋事業も進行中です。

甑島列島の玄関口である上甑島の里町はトンボロと呼ばれるユニークな地形(波の作用でできた砂州)によって島と島とがつながった地形の上に集落が形成されており、玉石垣が連なる武家屋敷の風情を残した町並みも魅力的です。ま



▲トンボロ

夏になると、島のあちこちでカノコユリの可憐な花々を見ることができます。

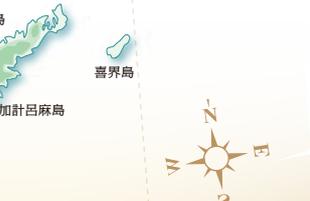


◀甑大明神橋

豊富な海の幸も島の魅力。甑島周辺は良質な漁場で、とくにキビナゴ漁は県内屈指の水揚げ量を誇ります。カンパチやマグロの養殖なども行われています。カノコユリの自生地があることも知られ、この花は薩摩川内市の市花にもなっています。

島の絶景、楽しみ方はいろいろ

島内の観光スポット周辺には、展望台や遊歩道が整備されており、「長目の浜」や「トンボロ」など、島の美しい景観を散策しながら楽しめます。



島々メモ

アートで町おこし 新たな魅力を島で創造する

里町出身の芸術家・平嶺林太郎さんの呼びかけで、2004年より「KOSHIKI ART PROJECT」という取り組みが展開。若手アーティストが島で作品を制作・展示するイベント「甑島で、つくる。」も2013年まで10年間開催されました。また、里町にはギャラリー&カフェ「ギャラリーヒラミネ」も2012年にオープン。ここでは平嶺さんの祖父・時彦さんが手がけたユーモラスな作品も展示され、新たな名所となっています。



また、水中展望船きんしゅう(里港発)に乗船して海中の景色を楽しんだり、海から島の絶景が楽しめる観光船かのこ(中甑港発)でのクルージング体験もおすすめです。島内を移動する手段としてはバスやタクシー、レンタカーのほか、バイクや自転車のレンタルが可能です。レンタカーは電気自動車を利用することもできます。

【位置】北緯31度50分26.9秒/東経129度52分39.4秒(上甑島)

【面積】上甑島:44.14km² 中甑島:7.30km²

【周囲】上甑島:81.1km 中甑島:17.4km

【人口】2558人/1446世帯(上甑島・中甑島合計、平成27年3月現在)

【地形】最高点は上甑島が遠目木山(標高423m)、中甑島が木の口山(294m)で、ともにゆるやかな丘陵地形。リアス式海岸・砂州といった波の影響を受けた地形も特徴的。

【主な産業】水産業(キビナゴ・アジ・カンパチ・マグロ・アワビなど)・観光業

【アクセス】串木野新港からフェリーニューこしがが1日2便(里港ターミナルまで所要時間は最短で約1時間15分)、川内港ターミナルから高速船甑島が1日2便(里港まで所要時間は最短で約50分)。港へは川内駅・串木野駅よりシャトルバスもあり。

お問い合わせ先：薩摩川内市 企画政策部甑はひとつ推進室
甑はひとつ推進グループ ☎0996 (23) 5111

本物。品訪

鹿児島県 特産 特探

2014 かごしまの新特産品コンクール
日本百貨店協会会長賞

かた おも

片想いトート

牛革と帆布を使用したとても丈夫なトートバック。桜島をモチーフにした形と「人と人とを繋ぐリボン」をイメージした持ち手が魅力的なバックです。鹿児島市にある丸山革具店の革職人今和泉良太さんにお話を伺いました。

制作のきっかけは

入社して半年ほどした頃、それまでに覚えた技術でオリジナルの作品を作ってみようと思制作したトートバックが原型です。今回、コンクールへ出品することをきっかけにデザインを見直し、現在の形になりました。桜島をモチーフに色はオレンジと黒の2種類。それぞれ桜島小みかんと桜島の溶岩をイメージしています。

この作品が会話のきっかけになって、人と人とを繋ぐことができればとの思いから、「片想いトート」と名付けました。



作業工程で1つでもミスがあると商品にならないので、忙しくてもひとつひとつ丁寧に作業します。

こだわったポイントは

丈夫で使いやすいバックにするにはもちろんですが、一番のこだわりは「持ち手」です。他にないデザインで、一番持ちやすい長さや太さはどのくらいなのかと考えながら、試行錯誤を繰り返しました。持ち手が短かすぎると持ちにくいし、長すぎるとリボンのイメージに合わなくなります。バックを置いても持ち手が倒れず、さっと手に取りやすい長さにしました。

また、バックの中身が外から見えたり、雨で濡れたりしないよう、内側のポケットに蓋の機能を持たせ、収納するものが多いときは中のボタンを外せば口が大きく開くようバック本体のつくりも工夫しています。

今後の抱負を聞かせてください

当社では、長年に渡り、電力や通信、鉄道などの専門分野における鞆作りを行いながら、自社製品だけではなく、他社の製品の修理も行っています。鞆や財布といったさまざまな製品を修理していると、どこが壊れやすいか、どうしたら壊れにくくなるのかということがわかってきます。この経験を生かして、さらに丈夫で使いやすい製品を作っていきたいと思っています。これまでどおり牛革と帆布という新しい素材にこだわりながら、みたいですね。



「革職人になって4年目。マニュアルなどはないので技術を身につけるのは大変です。」と話す今和泉さん



片想いトート
価格15,120円(税込) 縦19cm×横29cm×マチ16cm

丸山革具店
〒891-0113
鹿児島市東谷山3-1-28
福留ビル1F
電話099-268-3559
FAX099-268-3291
<http://kawagu.com/>



プレゼントコーナー

片想いトートを1名様にプレゼント。

応募締切 平成27年6月30日(火)

応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに
①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号

③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

ハガキ宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX 099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

広告

第62回県美展

県内在住者および出身者の公募作品から選ばれた力作を展示します。

洋画・日本画・彫刻・工芸・デザイン・写真の6部門のみどころたっぷりの県美展をお楽しみください。

【期間】5月16日(土)～24日(日)

【会場】県歴史資料センター黎明館
鹿児島市立美術館

【観覧料】大人 500円
高校・大学生 300円
※中学生以下無料

【問】県庁生活・文化課 ☎099(286)2537



第62回県美展 奄美関連作家展

第62回県美展で入賞・入選した奄美群島在住作家の絵画・写真に加え、田中一村記念美術館賞受賞作品を展示します。

ぜひ、ご家族、ご友人とお楽しみください。

【期間】6月7日(日)～28日(日)

※6月17日(水)は休館日

【会場】田中一村記念美術館 企画展示室

【観覧料】無料

【フロアトーク】

6月7日(日)午後2時から作家による作品解説を行います。

【問】田中一村記念美術館

☎0997(55)2635

第36回霧島国際音楽祭 クリスマス祝祭管弦楽団公演



国内外で活躍する霧島国際音楽祭の講師やアーティストで構成された特別編成オーケストラの音色をお楽しみください。

【日時】7月29日(水)午後7時開演

(午後6時50分からプレトーク)

【会場】宝山ホール(県文化センター)

【入場料】S席 5,000円 A席 3,500円
A席高校生以下 2,500円
※全席指定。未就学児は入場不可

【曲目】ヴァイオリン協奏曲 第2番／モーツァルト

交響曲 第4番／ベートーヴェンほか

【出演者】下野竜也(指揮)、榎本大進(ヴァイオリン)、クリスマス祝祭管弦楽団

【問】宝山ホール ☎099(223)4221

試験

鹿児島県職員採用試験を実施します

【試験の種類】

○上級試験

○民間企業等職務経験者職員採用試験

【受付期間】5月11日(月)～27日(水)

※インターネットによる受験申し込みは、5月11日(月)～25日(月)

【第1次試験日】6月28日(日)

【試験地】鹿児島市

【受験資格】

○上級試験

原則として、22～29歳(保健師は21～29歳)

○民間企業等職務経験者職員採用試験

30～39歳(民間企業等での職務経験が5年以上必要(平成27年3月31日現在))

※年齢はいずれも平成28年3月末現在

【その他】

試験案内および受験申込書は、県庁など県の機関で配布します。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。か、下記までお問い合わせください。

【問】県人事委員会事務局総務課

☎099(286)3893・3894

催し

博物館まつり

博物館でどんなところだろう。

バックヤードツアーや城山植物探検隊、竹笛や星砂探しに挑戦する楽しい実験、チョウや化石との触れあいコーナーなど催しものがいっぱいです。

【日時】5月17日(日)午前10時～午後4時

【会場】県立博物館

宝山ホール(県文化センター)4階

【料金】無料

【問】県立博物館 ☎099(223)6050

薩摩藩英国留学生渡航150年記念企画展

幕末薩摩の留学生

—日本近代化の若き先駆者たち—

今から150年前の元治2年3月22日(1865年4月17日)に、串木野郷

羽島浦からイギリスへ密航した薩摩藩英国留学生を中心に、関連する資料を展示するとともに、後に外交、経済、教育などのさまざまな分野で、日本の近代化に貢献した彼らの思想や生き方を紹介します。

【期間】7月26日(日)まで

【会場】県歴史資料センター黎明館3階 企画展示室

【観覧料】常設展示入館料でご覧になれます。

【問】県歴史資料センター黎明館

☎099(222)5396



募集

第30回国民文化祭・ かごしま2015

かごしま漫画フェスティバル 漫画作品募集



かごしま漫画フェスティバルでは、「鹿児島」をテーマとした漫画作品を募集しています。奮ってご応募ください。

【テーマ】

黒豚・黒牛・黒酢など鹿児島独自の「黒文化」や鹿児島の歴史、観光、人物、産業など

【応募資格】

プロ・アマ、年齢などは問いません。ただし、未投稿のオリジナル作品に限ります。

【参加料】無料

【応募締め切り】7月31日(金)当日消印有効

※詳しくは、かごしま国文祭ホームページをご覧ください。かごしま漫画クロデミー賞実行委員会事務局(☎070-5410-5329)までお問い合わせください。

【問】第30回国民文化祭鹿児島県実行委員会事務局 ☎099(286)2858

分野別フェスティバル 市町村主催事業の作品募集

市町村主催の分野別フェスティバルで、文芸や美術などの作品を募集しています。

【募集作品】

短歌、俳句、現代詩、川柳、紀行文、日本画、洋画、いけばな、押し花絵、ちぎり絵、和紙はり絵、造形、チェンソーアート、デジタルアート、CGアート、宇宙芸術、貝殻アート、木製工芸、写真

※各作品の募集要項が異なりますので、詳しくは、かごしま国文祭ホームページをご覧ください。かごしま国文祭ホームページをご覧ください。

【問】第30回国民文化祭鹿児島県実行委員会事務局 ☎099(286)2847

若者の就職を全力でサポートします



若者就職サポートセンターや県立高等技術専門校では、若者の就職を支援しています。

【若者就職サポートセンター】

若者の就職に関するさまざまなサービスを提供します。

○本所

鹿児島商工会議所 (アイム) ビル3階
☎099 (216) 9001

○鹿屋サテライト

鹿屋市産業支援センター2階
☎0994 (36) 0061

※開館日:月~金曜日

(祝日・年末年始は休み)

【県立高等技術専門校】

各分野の職業訓練を実施します。

○吹上高等技術専門校

自動車工学・機械整備・金属加工分野
☎099 (296) 2050

○宮之城高等技術専門校

住宅建築分野
☎0996 (53) 0207

○始良高等技術専門校

ハイテク分野
☎0995 (65) 2247

○鹿屋高等技術専門校

電気設備分野
☎0994 (44) 8674

【問】県庁雇用労政課 ☎099(286)3028

くらし

なんしゅん

楠隼中学校・楠隼高等学校の学校説明会を開催します

楠隼中高一貫教育校の学校説明会を開催します。事前の申込みは不要ですので、会場に直接お越しください。

楠隼中高一貫教育校に興味をお持ちの皆さんのお越しをお待ちしています。

【県内】

開催日	開催市町村
5月10日(日)	肝付町、西之表市、南大隅町
16日(土)	伊佐市、鹿児島市、湧水町
17日(日)	出水市
23日(土)	曾於市、南さつま市、霧島市、日置市
24日(日)	薩摩川内市、始良市
30日(土)	志布志市、鹿屋市
31日(日)	枕崎市、指宿市、和泊町
6月20日(土)	鹿児島市、徳之島町
21日(日)	奄美市、鹿屋市

【県外】

開催日	開催都府県
6月 6日(土)	宮崎県
7日(日)	沖縄県、愛知県
13日(土)	神奈川県、佐賀県、
14日(日)	東京都、長崎県
27日(土)	大阪府
28日(日)	京都府
7月 4日(土)	熊本県、岡山県
5日(日)	福岡県、千葉県
11日(土)	宮城県
12日(日)	山形県、長野県

※開催時間や会場など詳しくは、楠隼中高一貫教育校ホームページ (<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/nansyun/>) でご確認ください。

【問】県立楠隼中高一貫教育校

☎0994(65)1192

第42回企画展 蘇るSHOKU I

～「食」から見える古の生活～

獲物を求めて山野を駆け巡る遊動の生活から、農耕などによる定住の生活へ。環境の移り変わりに適応しながら、

さまざまな知恵と工夫で生き抜いてきた古の人々の生活ぶりを「食」というテーマで紹介します。

【期間】7月5日(日)まで

【会場】上野原縄文の森展示館 企画展示室

【入場料】展示館利用料でご覧になれます。

【問】上野原縄文の森 ☎0995(48)5701



石皿と磨石
(永迫平遺跡・日置市)

マリポートかごしまへクルーズ船を見に行こう



マリポートかごしまに国際クルーズ船が寄港します。ご家族、ご友人、みんなでクルーズ船を見てみませんか。

【寄港予定日】

- ・サファイア・プリンセス(イギリス)
5月11日(月)、26日(火)、6月20日(土)
- ・ロストラル(フランス)
5月17日(日)
- ・ヘンナ(マルタ)
6月28日(日)

※原則として船内見学は出来ません。天候や運航スケジュールなどの事情により、日程等は変更されることがあります。寄港情報は、県ホームページをご覧ください。

【問】県庁観光課 ☎099(286)2997

県ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

広告

かごしまよかとこ巡り
旅ガラスのごとく広い県土
を飛び回り、お薦めの観光
スポットを紹介します。

砂丘のまちで アートと名湯に浸る旅

日本三大砂丘の一つであり、薩摩半島の東シナ海側のほぼ全域といつていいほどに白砂青松の砂浜が続く吹上浜。今回は、吹上浜沿いの南さつま市と日置市のおすすめスポットをご紹介します。

2 ばんせい 万世特攻平和祈念館

南さつま市加世田高橋



太平洋戦争末期の陸軍最後の特攻基地である「万世飛行場」跡に、平和への思いを込めて建設されました。

館内には、吹上浜沖から引き揚げられた零式水上偵察機のほか、特攻を前にした隊員たちの最後のメッ

セージや血書、遺品、遺影などが数多く展示されています。

【所在地】南さつま市加世田高橋1955-3

【入館料】大人 300円

【営業時間】午前9時～午後5時

小人 200円

【休館日】(入館は午後4時30分まで)

【駐車場】50台

12月31日、1月1日

万世特攻平和祈念館 ☎0993 (52) 3979

1 くじらの眠る丘

南さつま市大浦



平成14年に旧大浦町小湊干拓海岸で集団座礁した14頭のマッコウクジラ。そのうちの1体を使った県内初のマッコウクジラ全身骨格標本展示施設です。前面をガラス張りにした館内では、1階から骨格全体が、2階ロフトからは斜め上部のダイナミックな骨格像が見渡せます。

【所在地】南さつま市大浦町29451

【開館時間】1階部分 いつでも自由に観覧できます。

2階部分 午前9時～午後5時

【休館日】年中無休

【入館料】無料

【駐車場】50台

南さつま市観光交流課 ☎0993 (53) 2111

3 吹上浜砂の祭典

南さつま市金峰町高橋

ゴールデンウィークから1カ月間開催される日本最大級の砂のイベント。国内外のアーティストや地元制作団体による迫力ある砂像群と花々で空想の世界を創り出します。ゴールデンウィークの夜には音と光のファンタジーも開催され、見る人を夢の世界に誘います。

【会期】5月31日(日)まで

【会場】メイン会場/砂丘の杜きんぼう内 特設会場(南さつま市金峰町高橋4148-1)

サテライト会場/県立吹上浜海浜公園、南さつま市内各地域

吹上浜砂の祭典実行委員会(南さつま市商工観光交流課内) ☎0993 (53) 2111

今年の砂像テーマは、ハッピードライブ
～時代を映すのりもの世界～





5 江口浜海浜公園 日置市東市来町伊作田

休憩所やイベント広場などが完備された吹上浜初の人工ビーチで、海水浴やカヌー、スタンドアップパドルなどのマリンスポーツを満喫できます。東シナ海に面しており、夕日が美しいことでも有名なスポットです。

隣接する物産館「江口蓬莱館」では、江口漁港で水揚げされた新鮮な魚介類などを販売。併設するレストランではおいしく味わうことができます。

【駐車場】100台(利用は午前8時30分～午後6時)

日置市東市来支所地域振興課 ☎099(274)2112



【所在地】日置市東市来町美山1051番地

【開館時間】午前8時30分～午後5時

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合を除く)、年末年始(12月29日～1月3日)

7 しらす丼

吹上浜の海で獲れるシラスは、良質なタンパク質やビタミン、カルシウムがたっぷり。

道の駅きんぼう木花館では、新鮮なまま釜ゆでにしたシラスをぜいたくに使い、シラスの甘みと磯の香りが絶品のしらす丼を味わえます。

【所在地】南さつま市金峰町池辺1383

【営業時間】物産館 午前9時～午後6時
レストラン 午前9時30分～午後3時

【休館日】1月1日～3日

【駐車場】130台

道の駅きんぼう木花館 ☎0993(77)3833



※利用時間や休業日などはおでかけ前に各施設にお問い合わせください。

4 吹上温泉 日置市吹上町湯之浦



その昔、伊作温泉の名で知られ湯治客でにぎわった吹上温泉は、起源を戦国時代までさかのぼるといわれています。明治になると西郷隆盛が湯治に訪れ、斉藤茂吉や野口雨情などの文人詩人にも愛された風情ある静かな温泉です。

日置市吹上支所地域振興課

☎099(296)2112

6 薩摩焼の里 美山 日置市東市来町美山

約400年前に島津義弘公が朝鮮から連れてきた陶工たちが、後に苗代川に移り住み開窯した美山。今でも多くの窯元が立ち並び、薩摩焼の技と心を伝えています。また薩摩焼だけでなく、ギターやガラス工房、手づくり雑貨店などの個性的な店舗も多くあります。

美山陶遊館では、陶工の指導を受けながら薩摩焼の陶芸体験が楽しめます。

【体験料】手ひねり体験1,470円、ろくろ体験1,995円

【駐車場】20台

美山陶遊館 ☎099(274)5778



8 ソマモンド

地元産のソバ粉を使い、地元加工グループがひとつひとつ手づくりしたお菓子。表面は柔らかく、中はサクッとしていて、口にするとうソバとアーモンドの香りが広がります。

地元のイラストレーターがデザインしたパッケージには、吹上の民話を基にしたかわいいうい3羽の鳥が描かれています。

【所在地】日置市吹上町永吉8194

【営業時間】午前8時～午後4時

【休館日】不定休 【駐車場】50台

あじのふるさと館 ☎099(299)3570



ソマ(ソバの方言) + アーモンドで「ソマモンド」

5月23日(土)～24日(日) いちき串木野市荒川交流センター



荒川ほたるでナイト

問い合わせ先

いちき串木野市荒川交流センター
☎ 0996 (32) 8809

荒川川の清流にホタルが乱舞するこの時期に開催される地元手作りのイベント。伝統芸能「びょうびょう祭り」や荒川小学校児童による荒川太鼓の披露、地元産野菜などの販売も開催。地元婦人会の手作りの夕食販売(要事前予約)もあります。

6月7日(日) いぶすき 指宿市山川港水揚げ場およびその周辺



山川みなと祭り

問い合わせ先

菜の花商工会開聞支所
☎ 0993 (32) 4780

港の繁栄と航海の安全を祈願して開催されます。船団パレードや街頭パレード、祝賀演芸会などさまざまな催しで賑わいます。また、前日には夜空と水面に大輪の花を咲かせる花火大会も開催。指宿の熱い祭りにぜひご来場ください。

6月7日(日) 東串良町総合体育館および多目的広場



東串良ピーマン狩り & 農業祭

問い合わせ先

JA鹿児島きもつき東串良支所
☎ 0994 (63) 9299

東串良町の特産品でもあるピーマン。ピーマン狩りで農業体験が楽しめる他、新鮮野菜や牛肉・豚肉が市価よりも安くで販売される。そのほか会場では、バザーなどさまざまなイベントも行われる。

EVENTS INFORMATION

イベント情報

2015年

5~7月

MAY >>>>>> JULY



5月16日(土) 薩摩川内市鹿島港フェリー桟橋および西海岸



鹿島ウミネコまつり

問い合わせ先

鹿島地区コミュニティ協議会
☎ 09969 (4) 2215

鹿島町のウミネコは、繁殖のため飛来することでよく知られ、また、南限の営巣地である鹿島断崖一帯は、奇岩などが多く風光明媚な景勝地として知られています。当日は漁船からウミネコの餌付け体験や西海岸のクルージングを楽しむことができます。

5月中旬から6月中旬 伊佐市忠元公園



ミヤマキリシマ開花

問い合わせ先

霧島市観光協会
☎ 0995 (78) 782115

坂本龍馬と妻のお龍も新婚旅行のときに見たというミヤマキリシマが見頃を迎えます。開花時期は例年、高千穂河原が5月中旬～5月下旬、えびの高原が5月下旬～6月上旬、韓国岳山頂が6月上旬～6月下旬です。

広告

6月21日(日)

始良市加治木福祉センター



始良市加治木町 くも合戦

問い合わせ先

加治木地域振興課
☎0995 (62) 2111

島津義弘公が文禄・慶長の役(1592年～1598年)に参戦し、その陣中で兵士を鼓舞するためにコガネグモを集めて戦わせたのが始まり。毎年6月第3日曜日に開催され、海外から取材を受けるなど広く注目を集めています。

6月7日(日)

日置市吉利丸神社、日置八幡神社、日吉運動公園



せつぺとべ

問い合わせ先

日置市役所日吉支所地域振興課
☎099 (292) 2112

「精一杯跳べ!!」を語源とする、日吉地域の「せつぺとべ」。約420年以上の歴史を持つ地域独特の伝統行事です。県内外から多くの観客が訪れる「せつぺとべ」。若者たちが泥だらけになりながら飛び跳ねる姿は圧巻です。

7月4日(土)

屋久島町一湊海水浴場



世界遺産屋久島 オープンウォーター スイミング

問い合わせ先

世界遺産「屋久島」OWS
実行委員会
☎03 (6205) 7591

屋久島の透明度の高い海で、たくさんの魚やウミガメを見ながら泳ぐことができます。また、泳ぎ終わった後は、屋久島の海の幸を味わえるフェアウエルパーティもあります。世界遺産の島で泳ぐ喜びを堪能、屋久島の良さを感じてください。

6月7日(日)

さつま町二渡水辺公園



第9回 川内川鮎まつり

問い合わせ先

川内川漁業協同組合
鮎まつり事務局
☎0996 (53) 0443

毎年6月1日の鮎漁解禁に合わせて開催。当日は約3000匹の鮎が用意され、塩焼きを楽しめる。そのほか会場では、ニジマスのつかみどり、魚の体験放流、地元農産物の販売など盛りだくさん。旬の鮎を味わいに、ぜひさつま町へ。

7月4日(土)～8月31日(月)

阿久根市阿久根大島



阿久根大島 海水浴場海開き

問い合わせ先

日本水泳振興会
☎0996 (72) 5920

阿久根市街地の沖合に浮かぶ島で「日本名松100選」や「日本の快水浴場100選」に認定された風光明媚な島です。また、島内には約130頭の野生鹿が生息し、観光客を出迎えてくれます。海水浴だけでなく、キャンプや釣り体験など、楽しみ方もいっぱいです。

6月上旬～下旬

徳之島町花徳・轟木・手々地区



豊年祭り

問い合わせ先

徳之島町地域営業課
☎0997 (83) 4111

町内の3つの地区で行われる豊年祭り。五穀豊穡への感謝と豊作祈願の行事として戦後から続けられ、地域の絆を深める祭りとして保存継承されている。地元青年団の力強い神輿や子ども神輿は必見。各地区の開催日については確認を。

広告

薩摩藩 英国留学生 同行記

Record of Satsuma Students Travel Companions

ついに 英国留学生 秘密裏に英国へ

第1回
全6回

参考資料／薩摩海軍史・薩摩藩英国留学生(中公新書)

画／竹添 星兒 本文監修／東川 隆太郎



この度、ついに薩摩藩によって十九人の藩士が秘密裏にイギリスへ送り出されたことが、本紙記者の取材で明らかになった。一団は四月十七日に串木野郷羽島村から、長崎の貿易商グラバーが手配した蒸気船「オースタライエン号」で出航。十五人の留学生と四人の視察員で構成され、留学生はイギリスで技術研究に励み、視察員は西洋諸国の視察のほか、軍艦などの買い付けも行うとみられる。

留学生派遣決めた

「五代友厚上申書」とは

幕府が海外渡航を禁じている現在、海外への留学生派遣は薩摩藩にとっても大きな決断であったと思われるが、今回の計画には五代友厚ごだいともあつの上申書が大きな役割を果たしたようだ。元治元(一八六四)年に提出されたこの上申書では、主に上海貿易による国内の特産物の輸出と、海外への留学生派遣の二つの提案がなされ、貿易で得た利益をもって留学生に同行する視察員がヨーロッパで蒸気軍艦などを買い付ける計画が描かれた。これは文久三(一八六三)年の薩英戦争以降、西洋の技術を重要視

している薩摩藩の方針とも合致する。上申書には経費や利益などの具体的な数字までもがあげられており、藩政を行う国父・島津久光しまづひさみつを納得させるにも十分な内容であったことがうかがえる。

五代は幼少の頃からその才能を知られ、二十二歳の時、長崎遊学を命ぜられて長崎海軍伝習所でオランダ式の海軍技術を学んだ。薩英戦争では蒸気船「天祐丸」の船長として参戦したが、イギリス軍の捕虜となる。このとき西洋の軍勢力を目の当たりにし、日本の富国強兵の必要性を痛感したようだ。さらに長崎で貿易商のトーマス・グラバーと懇意になったことで、海外貿易や留学生派遣のアイデアが具体化したのであろう。五代自身も今回の一団に視察員として同行している。



五代友厚の上申書では、留学生に同行する視察員が蒸気軍艦などを購入する計画が描かれた。



ごだい ともあつ
五代 友厚

(天保6(1835)年 - 明治18(1885)年)
薩摩藩英国留学生に視察員として同行し、欧州視察や紡績機械や武器の買い付けを行う。帰国後明治政府では参与職外国事務掛・外国官権判事・大阪府権判事兼任などを歴任した。大阪商法会議所初代会頭。



てらしま むねのり
寺島 宗則

(天保3(1832)年 - 明治26(1893)年)
薩摩藩英国留学生に視察員として同行し、主としてイギリス外務省との外交交渉にあたる。帰国後明治政府では外交官として条約改正に取り組み、外務卿・文部卿・元老院議長などを歴任した。



にいろう ひさのぶ
新納 久脩

(天保3(1832)年 - 明治22(1889)年)
薩摩藩英国留学生を視察員として引率し、五代らと共に欧州視察を行う。帰国後は薩摩藩の家老となる。判事として明治政府に出仕後、奄美の大島島司となり黒糖の流通改革を行った。



家柄、思想、様々に 人物を選抜

留学生は、将来家老職に就くべき家柄から四人、藩の洋学養成機関開成所の学生から十二人が選抜された。メンバーには西洋諸国を敵とみなす攘夷論者も含まれるが、これには彼らを西洋の美情に触れさせることで富国強兵論に転向させようという五代の狙いがある。薩摩藩としても、今後藩が一丸となって西洋と対等に渡り合える国づくりを行うためには、さまざまな思想や立場の人間に世界を見せることが必要との思いがあるのだろう。

しかし実際には攘夷論者側の反発もあったようで、家老職に就くべき家柄のなかから、はたけやまのやうのやう畠山丈之助ほか二人は辞退を申し出たとされる。久光自ら説得にあたったものの、最終的に畠山以



留学生らは二カ月間羽島に逗留し、船を待った。

外の二人は固辞したようだ。この欠員に対しては同列の家柄から二人を補充し、計十六人での留学が決定した。

一団は船を待ったため今年二月から約二カ月ほどを羽島で過ごしていたが、この間に留学生の一人が亡くなった。密航ということもあり、未だ見ぬ地への期待と不安の両方を抱えての出航に、逗留先には留学生の決意の和歌が残された。

君か為忍ふ船路としりながら
けふのわかれをいかて忍びん
畠山丈之助(留学中の変名・杉浦弘蔵)

花ならぬ影も匂ひて羽島浦
更にゆかしき今日にもあるかな
市来勘十郎(留学中の変名・松村淳蔵)

留学生らは途中香港やカイロなどに立ち寄り、目的地ロンドンを目指すことされる。本紙記者もその海外渡航に同行し、彼らの様子を追う予定である。

※本紙は薩摩藩英国留学生の当時の様子を新聞風に紹介する企画です。
※記事内の日付は新暦を用いています。

次回
留学生、船上で
西洋文化に触れる



みんなで子どもを育てる。
その意識で団結しています

丸玉神社宮司

ながい のぶあつ

長井 信篤 さん(55)

過疎化が進む中、地域みんなで子どもを育てようという意識で続けてきました。私が普段地元を離れて仕事をしているだけに、自治会のみなさんが一所懸命に尽くしてくださる姿を見ては、人々の団結なくして祭りは継続できないと実感しています。子どもが一人でもいる限り、祭りは続けていきます。人数の制限はありますが、唐カラ船祭りは地区外のお子さんも参加できます。船も無料でお貸ししますので、事前に神社へお問い合わせください。



写真提供：早水廣雄さん

かごしま 祭時記

帆に古布を使い、守り神の「猿の子」を付けた唐カラ船。→

唐カラ船祭り

南さつま市坊津町泊／丸玉神社
から
ぶね

伝統の節句遊びを復活 男の子の成長を祈る祭り

5月5日の昼過ぎ、坊津町の泊自治公民館から丸玉神社までの約500メートルの道のりを、浴衣に紙兜姿の就学前の男の子たちがカラカラという音を鳴らしながら木製の帆船を引いて歩きます。これは「唐カラ船祭り」の稚児行列。その後、大きな唐カラ船を引く人々、太鼓や三味線に合わせた踊り連が続き

ます。

唐カラ船とは、坊津が中国(唐)との貿易で栄えた頃の交易船をかたどった郷土玩具。男の子のいる家庭では、端午の節句になると、子どもの健やかな成長と幸運を願ってこの船を作り、男の子たちは船を引いたり、競争をしたりして夢中で遊んだといえます。「海運業が盛んだった享保以前(1716年)からある遊びのようです。戦後廃れていたこの遊びを残したいと考えた篤志家と共に、私の父が発案し、地域の方々の協力を得て昭和52年から泊地区で始めたのが唐カラ船祭りなのです。祭りをきっかけに奉納踊りの一つ「奴踊り」が復活し、唐カラ船が土産品として販売されるようにな

鹿兒島には、古くから受け継がれてきた個性豊かな伝統行事祭りが残っています。今回はそんな伝統行事の中から南さつま市坊津町泊に伝わる「唐カラ船祭り」をご紹介します。

りました。祭りは地域活性化にも役立つと思います。そう教えてくださったのは丸玉神社宮司の長井信篤さん。宮司だった父親の跡を継ぎ、唐カラ船祭りをはじめとする神社の行事を執り行っています。

祭りのメインは、神事と奉納踊りの後に行われる唐カラ船引き競争です。「ヨイドン」の掛け声で船を引いて走り出す男の子たちが横にそれたり、立ち往生したりする姿に観衆から笑いがこぼれます。近くの泊浜へ移動し、再び踊りと船引き競争を行った後、漁船から浜に向かって紅白の餅が投げられ、一帯は餅を取り合う人々の歓声に包まれます。当日は、我が子を参加させたいと里帰りする家族も多く、この祭りによって地域の強い絆が結ばれています。



南さつま市

南さつま市

南さつま市は、平成17年に加世田市、笠沙町、大浦町、坊津町、金峰町が合併して発足した総人口36,154人(平成27年3月末日現在)のまちです。薩摩半島の南西部に位置し、国の名勝「坊津」および坊野間県立自然公園の指定を受けた景勝地のあることでも知られています。写真は国指定名勝「坊津」の双剣石。リアス式海岸が続く坊泊漁港入口にそびえる大小二つの剣に似た奇岩で、歌川廣重が浮世絵の画題にした場所です。